

今月の技術対策 (水稻編)

留萌農業改良普及センター

TEL : 0164-62-1779 FAX : 62-2474

E-mail: rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp



畑作・園芸編も
HPで公開中!

1 地域の生育状況 (普及センター調べ【苫前町、羽幌町、初山別村、遠別町】)

7月1日時点で、平年よりも3日～4日早く生育が進んでいます。

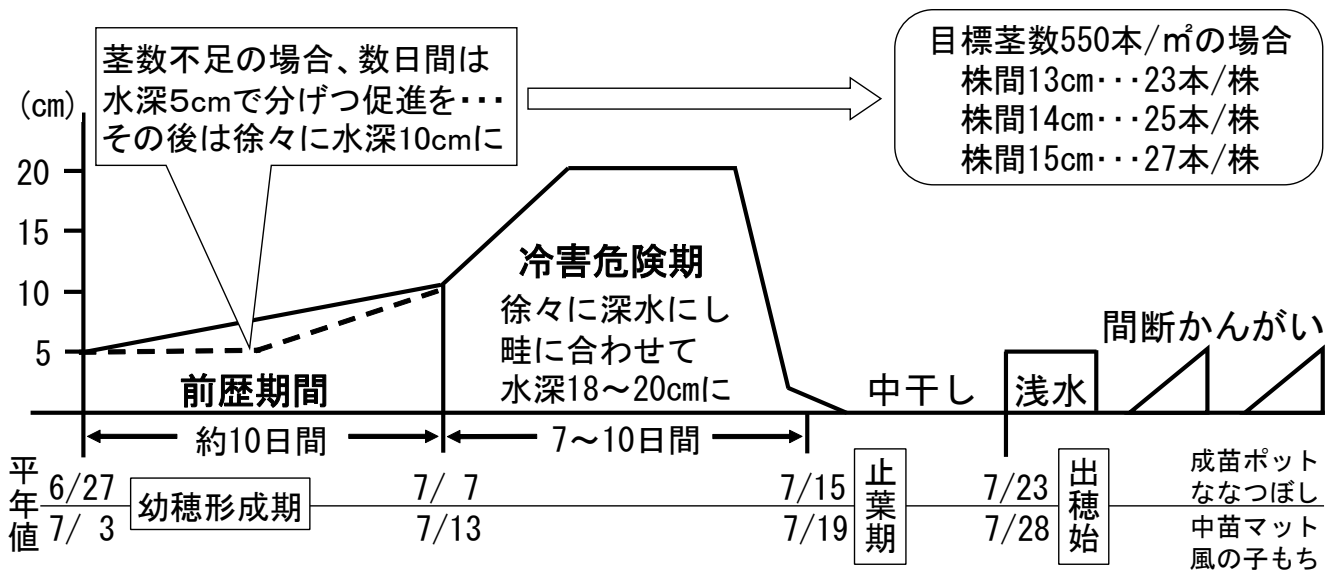
茎数は平年対比で、成苗ポットななつぼし：112%、中苗マット風の子もち：125%と多い傾向となっています。

7月1日水稻生育状況 (苫前町、羽幌町、初山別村、遠別町)

育苗様式 品種	年次	葉数 (枚)	茎数 (本/m ²)	生育 遅速	幼穂 形成期	止葉期	出穂期
成苗ポット ななつぼし	本年	9.9	559	早3	6/25	—	—
	昨年	9.9	636		6/26	7/12	7/24
	平年	9.4	501		6/27	7/15	7/26
中苗マット 風の子もち	本年	8.7	601	早4	6/29	—	—
	昨年	8.5	551		7/5	7/15	7/26
	平年	8.1	480		7/3	7/19	7/31

2 7月は不稔防止の深水管理を!

徐々に深水にして「前歴期間の花粉増殖」と「冷害危険期の花粉充実」を図り稔実歩合を高めましょう。



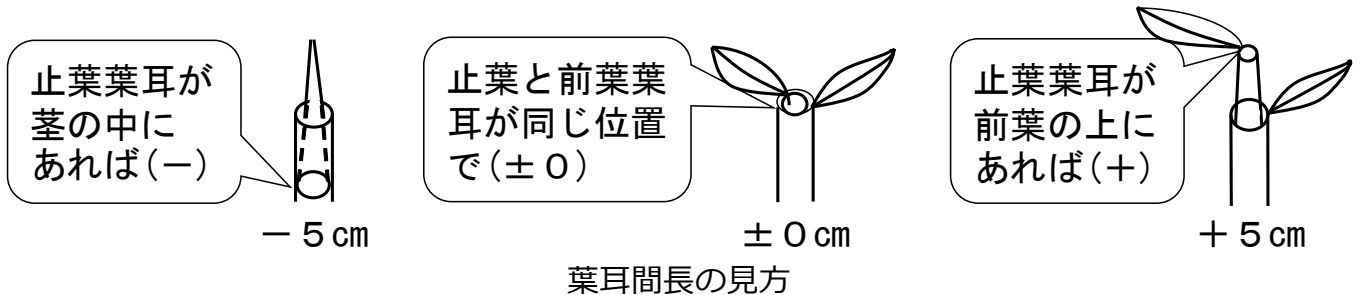
水管理のイメージ

(1) 入水のポイント ～1日1cmを目安に徐々に深水を～

入水は水温と本田水温の差が少ない夜間～早朝に行いましょう。

(2) 冷害危険期の終了 ～穂が出るまでに中干しを実施～

80%の茎の葉耳間長が+5cmになったら冷害危険期の終了です。中干しを実施し、根への酸素補給や地表面を固めて倒伏防止を図りましょう。出穂始には入水します。



3 病害虫発生予察をしっかりと行いましょう

【いもち病】

(1) 初発の確認

「日照が少なく雨が多い」、「曇天で夜温が高い日が続く」ような気象条件で発生しやすくなります。

BLASTAMも活用して初発時期を予測しましょう。

(2) 見歩き調査の実施

「過去に発生したほ場」や「復元田や葉色が濃いほ場」「風当たりの弱いほ場」を重点的に調査しましょう。



BLASTAM情報

【アカヒゲホソミドリカスミカメ (カメムシ)】～平年よりやや早い発生が予想されます～

(1) 畦畔雑草の処理

水稻の出穂までに畦畔の草刈りを行い、水田へのカメムシの侵入を防止しましょう。

(2) 基幹防除の実施

基幹防除（出穂期と出穂期から7日後）は必ず実施しましょう。基幹防除5日後にすくい取り調査（20回振り）を行い、カメムシが1頭以上見られる場合は追加防除を検討します。



～畦草刈りは事故多発！ 防護対策はしっかり！ 傾斜では足元に注意！～